

2 課「買い物・食事」

<行動目標>

お店の人や友達と簡単なやりとりをして、買い物をしたり料理の注文をしたりすることができる。

<3 つのスマールトピック>

ST1 「どこですか」

自分が買いたい物がどこにあるか聞くことができる。

ST2 「いくらですか」

自分が買いたい物の値段を聞くことができる。

ST3 「レストラン」

レストランで注文することができる。また、忘れ物の持ち主が誰か聞くことができる。

話してみよう

【話してみよう】は、イラストや写真を見ながら、これから始まる課のテーマに学習者を導いていく役割を持っています。ここには1枚の写真と3枚のイラストがあります。(第2版では写真が変わっています) 全部、使用する必要はありません。教室では、学習者に合わせて、教師が適切な写真またはイラストを選んで、学習者とやり取りをしてください。

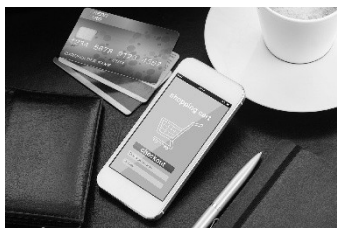
以下、やりとりの例をご紹介します。



・どこですか。



- ・買い物します。
- ・コンビニですか。スーパーですか。
- ・(ジェスチャーをしながら) コンビニへ行きますか。



- 何ですか。
- 買い物します。(スマホとカードを交互に指しながら)
これですか。これですか。



- どこですか。
- (ジェスチャーをしながら) レストランで何を食べますか。

聞いてみよう

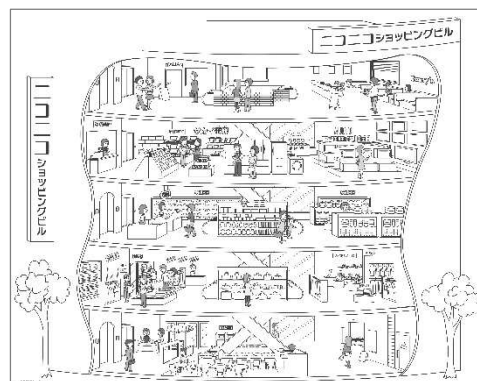
【話してみよう】が終わったら、【聞いてみよう】に移ります。【話してみよう】でテーマについて、学習者の興味が引き寄せられていたら、音声を聞くときには、学習者は聞くことに集中できます。また、会話の中には、エレベーターが開く音、メニューをめくる音といった効果音が入っているので、学習者が理解する助けになると思います。

ST 1 どこですか

できること：自分が買いたい物がどこにあるか聞くことができる。

チャレンジ！

状況イラスト：ショッピングビルの案内所や売り場で店員などに場所を聞いています。



1



コマイラスト：ニコニコショッピングビルに行ったパクさんはサカイ電器へ行こうと思っていますが、どこにあるかわかりません。今、ショッピングビルのインフォメーションでどこにあるか、聞いています。

まずは、状況イラストを学習者と一緒に見て、1 階のインフォメーションにパクさんに注目をしてください。

学習項目 何階ですか 階数の言い方

言ってみよう 別冊1

本冊の 287 ページ「ものの数え方」に階数の言い方の表があります。それを見ながら、階数の言い方の確認ができます。自分の学校にどんな施設が何階になるかも練習に取り入れられると思います。

言ってみよう 本冊1

ここでペア練習をするとき、教科書を見ながらだと、インフォメーションギャップがないので、聞く意味がなくなってしまう。何階か質問をする人はイラストを見ないで、聞いてみるようにするのも一つの方法です。

チャレンジ！

2-1



コマイラスト：インフォメーションでサカイ電器の場所を聞いたパクさんは 4 階に行こうとしますが、エスカレーターが見つかりません。近くにいた人にエスカレーターの場所を聞きます。

近くにいる人に施設の場所を聞いています。

学習項目 どこ ～はどこですか ここ・そこ・あそこ こちら・そちら・あちら

言ってみよう 別冊2-1

話し手が場所を共有している場合で、距離によって使い分けられる「ここ、そこ、あそこ」の練習です。

言ってみよう 本冊2-1

A に場所を聞かれた B が答える際に、A が知りたい場所を繰り返して（「エスカレーターですか」）確認し、答えています。イントネーションにも注意が払えるといいですね。



新出語彙は文脈を通して学んでいったほうが、効果的だと思います。練習をしながら、その文の中で使われている言葉の意味が分かって使えるようになるといいですね。

チャレンジ！

2-2



コマイラスト：サカイ電器に着いたパクさんは、カメラ売り場の場所を店員さんに聞いています。

店員さんに自分が買いたい物の場所を聞いています

学習項目 どこ ～はどこですか ここ・そこ・あそこ こちら・そちら・あちら

言ってみよう 別冊2-2

話し手が異なる領域を有している場合の「ここ、そこ、あそこ」の練習です。例2)は物が相手の領域にある場合には「そこ」が使われることを示しています。ここでのキューには学習者の生活に身近な物が使われています。『わたしの文法ノート』p.8に「こ・そ・あ」の整理ができる問題があるので、それを学習者と一緒に見て確認することができます。

言ってみよう 本冊2-2

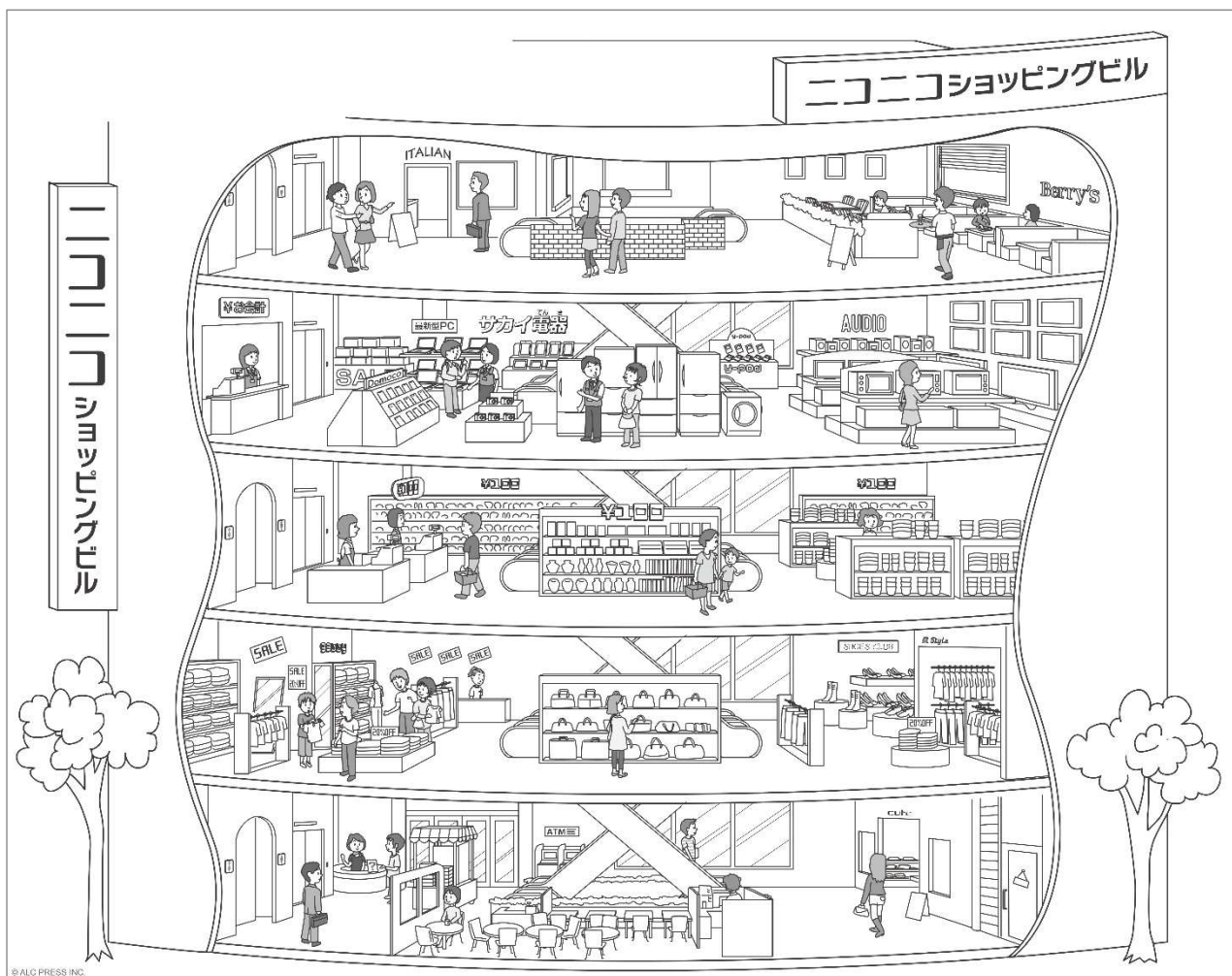
売り場で店員とのやりとりをしています。店員が「こちら・そちら・あちら」を用いて答えています。第2版では、キューの一部が変わっています。(携帯電話→スマートフォン、電子辞書→タブレット)

やってみよう

ST1 の「できること」は、「自分が買いたい物がどこにあるか聞くことができる」です。

🔊 音声を聞いたあとで、答え合わせをするだけでなく、会話のストラテジーにも注目できると思います。受け付けで階数を聞いたあとに、もう一度「4 階ですね」と繰り返していることや、「あのう」を使っていることに、学習者の注意を向けてください。

▶ 【チャレンジ！】で使った状況イラストも一緒に用いて練習をすると、会話がどこで行われているか、分かりやすくなります。



ST2 いくらですか

できること：自分が買いたい物の値段を聞くことができる。

チャレンジ！

状況イラスト：パクさんは今、店で店員さんに値段を聞いています。



1



コマイラスト：パクさんはTシャツの値段が分からないので、店員さんに聞いています。

学習項目 ～はいくらですか これ・それ・あれ

言ってみよう 別冊1

本冊の p.285 に数字の表があります。こちらを見ながら、読む練習ができます。値段はまずは、聞いて分かることが大切です。まずは「これ・それ・あれ」がきちんと言えるようになったらいいと思います。練習1は距離、練習2は領域による「こ・そ・あ」の違いの練習です。

言ってみよう 本冊1

店員のところに○があります。ここでは学習者が値段を決めて答えるようにしてください。このイラストを拡大して、教室に貼って（提示して）、やり取りをすると、リアル感が増します。

チャレンジ！

2



コマイラスト：パクさんは別のTシャツを見て、値段が知りたくなり、店員さんに聞いています。

【チャレンジ！】では1ですでに「これ・それ・あれ」を練習したので、学習者は「あれはいくらですか」と言うと思います。コマイラストのTシャツの上に「▼▼▼」が書かれていること（パクさんが他のTシャツに注目している）に学習者の注意を向けるようにしてください。

学習項目 このN・そのN・あのN

言ってみよう

別冊2

言ってみよう

本冊2

店員役になった学習者には、自由に値段を設定して答えるように言ってください。

チャレンジ！

3



コマイラスト：パクさんは値段を聞いたあと、店員さんにTシャツを買うことを言います。

学習項目 Nをください

言ってみよう

別冊③

言ってみよう

本冊③

「この・その・あの」は、②で学習済みですが、再度、ここでも練習をします。

やってみよう

ST2 の「できること」は、「自分が買いたい物の値段を聞くことができる」です。

🔊 値段を聞いている人が使っている「こ・そ・あ」でどれを指しているかが把握できる
といいです。音声を聞く前に、話す人の位置を確認しておくとう混乱がないかもしれません。

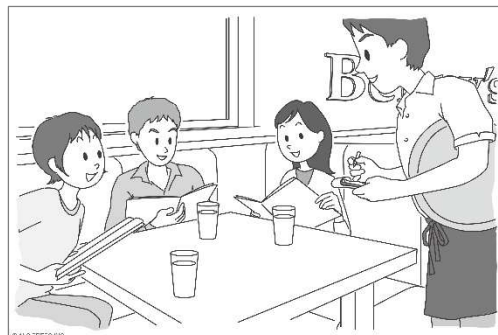
▶ 6 コマのイラストを見ながら、ペアで話します。ここでは、ST 1 で練習した、インフォ
メーションで売り場の場所を聞く会話から始まっています。

ST3 レストラン

できること：レストランで注文することができる。また、忘れ物の持ち主が誰か聞くことができる。

チャレンジ！

状況イラスト：パクさん、ダニエルさん、ワンさんは一緒に食事をするため、レストランへ来ました。今、注文をしています。



1



コマイラスト：パクさんはメニューを見てもどんな料理かわからない物があったので、店員さんに聞いています。

学習項目 何のN

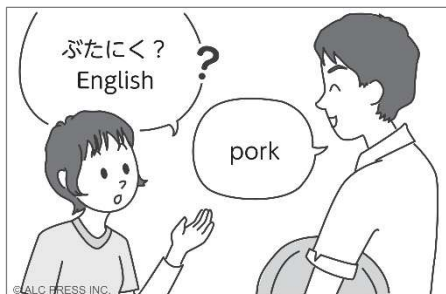
言ってみよう

別冊1

ここではキューが文字で掲載されていますが、練習の際には写真があるといいと思います。⑤と⑥は「肉と野菜の料理」、「鶏肉と卵の料理」になります。「NとN」は1課ST3で既出です。学習者自身がどのように言うか、気がつけるように意識を向けるといいと思います。

チャレンジ！

2



コマイラスト：パクさんは店員さんが言った「豚肉の料理」の「豚肉」が分からなかったの
で、自分分かる言葉で説明してもらおうとして、聞いています。

学習項目 [言語] で

言ってみよう 別冊2

キューには「英語」と「日本語」がありますが、この2つの言語だけではなく、学習者
の母語の日本語を紹介するのもいいと思います。

言ってみよう 本冊1 2

このやり取りの3ターン目のAは、相手が言った言葉を繰り返すことによって、自分が
分からないことを相手に伝えようとしています。会話文を読む際には、イントネーション
にも気をつけるといいですね。

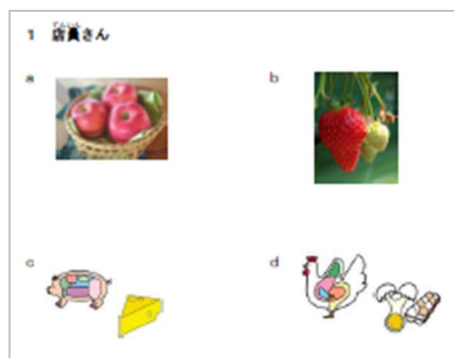
こんなふうに

実際にお客さんと店員さんになりきってやり取りができるようにインフォメーションギ
ャップですることをおすすめします！お客さん役と店員役どちらも練習できるように、2
種類用意しておくといいです。

お客さんが見るメニュー



店員さんが知っている情報





チャレンジ！

③



コマイラスト：ダニエルさんはメニューに書いてあるビールがどこのビールか知りたいので、店員さんに聞いています。

学習項目 どこの N

言ってみよう 別冊③

1 課の ST 1 では「N の N」として、「所属の N」が提出されていますが、ここでは N が製造された場所を表す「～の N」です。別冊のキュー以外にもクラスメイトの国のお菓子やお茶、コーヒー、料理などの写真を用意しておくとお互いの文化背景に興味を示すきっかけになります。

言ってみよう 本冊③

チャレンジ！

4



コマイラスト：ワンさんが店員さんに注文をしています。

学習項目 N を（～つ）ください

言ってみよう

別冊4

本冊 p.287 に「ものの数え方」の表に「～つ」の言い方があります。まずはこちらの表で、言い方を一緒に確認するといいいと思います。学習者にとっては覚えることが多くて負担になるかもしれません。まずは、注文の際によく使われる「一つ、二つ、三つ、四つ」などが使えるようになったらいいことを言ってあげて、練習するといいいと思います。

言ってみよう

本冊4

チャレンジ！

状況イラスト：食事が終わってお金を払っています。
ワンさんがテーブルに財布が置いてあるのに気がつきました。

5



コマイラスト：ワンさんはテーブルの上に置いてある財布を見て、ダニエルさん、パクさん

に声をかけています。

学習項目 誰の N

言ってみよう 別冊⑤

ここでは物の所有者を表す「～の N」を練習します。第2版では④のキューが「スマートフォン」に変更されています。

言ってみよう 本冊⑤

ここでは会話の流れが2つあります。1つは「誰のカメラ」かと聞かれて、それが自分のカメラだった場合、もう一つは「誰のカメラ」かと聞かれて、その所有者を知っていて、その人に注意を促してあげる場合です。練習するときには、3人グループになり、それぞれの場合の練習をするといいいです。

やってみよう

ST3の「できること」は、「レストランで注文することができる。また、忘れ物の持ち主が誰か聞くことができる」です。

🔊 レストランで注文するとき、店の人にどのように質問しているか、注目してください。スクリプトの中には、店員の「何名様ですか」「かしこまりました。少々お待ちください」といった日本語や、注文するときに「私、ハンバーグとライス」といった言い方が使われています。これらは、学習者に合わせて紹介してください。

▶ ロールプレイを行います。メニューがあると、リアリティが増します。生のメニューを用いるのもいいですが、カタカナが多く使われていたりすることもあるので、注意が必要です。

こんなふうに 1

このようなメニューを作って、練習をしました。

～メニュー～				
トンカツ	カレー	サラダ	ハンバーグ	からあげ
				
800 円	500 円	大：300 円 小：200 円	600 円	300 円
たに んどん 他人丼	きつねうどん	パン 100 円 ライス 120 円 みそ汁 100 円	ドリンクメニュー コーヒー 200 円 紅茶 150 円 ジュース 220 円 コーラ 180 円 ビール 350 円 ワイン (グラス) 400 円	
			デザートメニュー 今日のケーキ 300 円 チーズケーキ 200 円 プリン 150 円 コーヒーゼリー 250 円	
550 円	450 円			

できる！

この課の行動目標は、「お店の人や友達と簡単なやりとりをして、買い物をしたり料理の注文をしたりすることができる」です。教室の外へ出て、実際に買い物をしたり、お店で食事をしたりするときに、自分の日本語に自信を持って使えるようになってほしいと思います。

【できる！】実践例

- ・スーパーへ買い物に行く
- ・学校の近くにある商店で買い物
- ・「教室でできる！」のフリーマーケット

実践紹介

近所の商店やスーパーへ行って、商品の日本語の名前を知ったり、国との値段を比較したりします。おしゃべりしながら楽しく店内を見て回ります。その日の晩ご飯の材料を購入する学生や自分の国から輸入されたお菓子を見つけてクラスメイトの紹介している学生もいました。焼きそばの麺を見つけた学生がどのように調理するのか店員さんに質問したこともあります。

こんなふうに

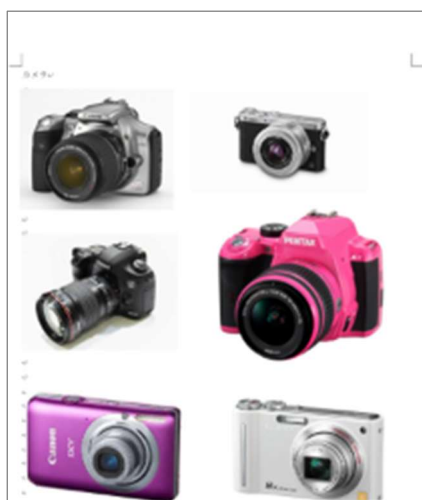
教室で本当のフリーマーケットをするのは難しいので、教師が下のような物の写真を用意して、「フリーマーケットごっこ」をしました。実際には、物の写真は一つ一つバラバラにして使いました。会場の入り口には、インフォメーションを担当する係も決めました。客になった人はAを見て、自分が興味がある物の場所をインフォメーションで聞くようにしました。値段は売る人が自由に決めて、買う人と交渉してもらうようにしました。

A

いらっしゃいませ！今日のフリーマーケットの店です。

くつ かばん ズボン・Tシャツ 時計

B



「好きな店」について話します。この段階では、まだ細かいところまで話すのは難しいので、教科書にあるように、お店の名前、何があるか、などを紹介できたらいいと思います。

教師がこのようなプリントを用意して、学校の近くにあるお店の紹介をしました。

A10クラス

第2課

2028/07/02

好きな店

ここはむつみ堂です。パンやお菓子のお店です。

これは私のランチです。むつみ堂のサンドイッチと野菜のジュースです。

サンドイッチはトマトとたまごのサンドイッチです。

1つ200円です。とてもおいしいです。ぜひ行ってください。

